

打線爆発 光星10点



【大間】八学光星、先頭打者の近藤俊太が右中間への本塁打を放ち、1点を先制。はるか夢

大間無念 6回コールド

準々決勝

八学光星 10点
 弘前工大 1点
 (6回コールド)

△佐佐木育 岡本 俱井(△)
 △山田、後藤、太山 △三塁打 近藤俊、矢野
 ▽本塁打 近藤俊、長南、(△)二塁打 俱井、長

南(△)
 ▽試合時間 1時間3分
 球審 澤田、壘審 関、小松、福永

【要】八学光星は初回、先頭打者近藤俊の本塁打で先制。二回以降も長打を中軸豊校と互角に戦うことができた。

3試合連続のコールドゲームで大間を退けた八学光星。打っては8本塁打を含む15安打。守っては無安打。無失点と盤石の試合運びで4強入りを果たした。初回に先頭打者本塁打で先制点を挙げると、3安打で打点も活躍した近藤俊太は、初球から積極的に狙った結果、1と勝負を挙げた。

快進撃を続けてきた公立校の勢いを受け流し、好機で長短打を集め、着実に点差を広げた。この試合で途中出場し、本塁打を含む3安打で打点も活躍していた井筒賢也も一躍、球のランナーをさらした。

ハイライト

きたと勝利に貢献し、喜びの表情。守備では、山田卓と後藤大海の継投で、相手打線を無安打に抑えた。捕手の太山昭仁も含め、2年生バテリが安定した投球で試合を制した。後藤は、チームに勢いを付けた。投球を見せられた。こうなると、

15安打で圧倒「初球から積極的に」

(金澤千優希)

試合速報
 第100回 全国高校野球選手権記念 青森大会
 ◇第7日

光星と聖愛
 4強名乗り

第100回全国高校野球選手権記念青森大会第7日は18日、弘前市はるか夢球場で準々決勝2試合を実施した。八学光星が大間に10-0でコールド勝ち、弘学聖愛は延長戦の末、弘前東を下して、共に準決勝に駒を進めた。大会第8日の19日は、残りの準々決勝2試合を行う。(取材班)

【八学光星】	打点	安打	振球	失
④ 近藤俊	4	3	2	0
⑥ 武長	4	1	1	0
⑧ 東	3	1	1	0
⑦ 近藤	3	1	1	0
③ R	3	0	0	0
⑨ 矢野	3	2	2	0
⑤ R	5	3	2	0
② 山田	0	3	0	0
① H	1	1	1	0
H	1	1	1	0
H	1	1	1	0
犠打	2	0	0	0
盗塁	4	0	10	3
併殺	0	1	5	9
残塁	0	4	0	0
投手	佐々木	5	1/3	3
回	5	1	3	1
打点	15	0	4	10
振球	15	0	4	10
失	0	4	1	0
山後	4	12	0	6
田	2	6	0	4
藤	0	4	0	0